

	検査項目	検査の説明	検査前準備/注意事項	検査に要する時間	検査場所	検査に適さない方
神経生理検査	脳波検査	脳から生じる微弱な電気活動を頭皮上の電極から増幅し、波形として記録したもので、覚醒や睡眠の状態、脳の機能障害、てんかん、意識障害の状態の有無、その広がり無侵襲に検査をします。	頭皮に電極を装着しますので、整髪料等は使用しないで下さい。ヘアピン等は検査前にはずしておいて下さい。小児科は必要であれば睡眠導入剤を使用します。	60分～90分	北棟4E	安静状態の保てない方
	筋電図検査(NCS)	末梢の神経を刺激することにより導出される活動電位により障害部位の検出と神経機能の客観的な評価をします。	検査部位(腕・足)を出しやすい服装。若干の痛みや不快感を伴います。	1神経で15分程度。依頼神経数による。	北棟4E	電気刺激や痛みには耐えられない方
	視覚誘発電位(VEP)	頭に数ヶ所電極を付け、モニターに映る市松模様を見て検査を行います。この検査では視覚野の反応を記録して、視神経の働きをみています。	眠気が強いと良好な検査結果が得られない場合があります。	30分～60分	北棟4E	モニター画面を継続して見続けることができない方
	体性感覚誘発電位(SEP)	上肢または下肢の感覚神経に電気的あるいは機械的な刺激を与えることによって誘発される電位で、末梢神経から脳幹、大脳皮質に至る長い神経路の機能障害を調べます。	検査部位(腕・足・襟元・背中)を出しやすい服装。若干の痛みや不快感を伴います。	1神経につき60分程度	北棟4E	安静状態の保てない方
	聴性誘発反応検査(ABR)	音の刺激により発生する聴覚伝導路および脳幹部からの電位を記録します。聴力や聴神経機能の検査をします。	頭皮に電極を装着しますので、整髪料等は使用しないで下さい。乳児の場合は、睡眠導入剤を飲んで検査を行います。	30分～60分	北棟4E	安静状態の保てない方
	ENoG	発症から約10日～14日経ってから施行する検査。表面電極を用いて顔面神経に刺激を送り誘発筋電図を記録します。予後診断目的の為に調べます。	顔を刺激するので痛みや不快感を伴います。	30分～60分	北棟4E	電気刺激や痛みには耐えられない方